

平成22年度佐賀環境フォーラム実績報告書

1 実施体制

組織体制は、佐賀大学・学生スタッフ・市民・佐賀市で構成する実行委員会形式

2 受講状況等

(1) 受講要件

高校生以上

(2) 受講料 (年間：前期・後期 ※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円 (1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 2講義につき 1,000円
- ◇ スポット受講者 (学生) : 2講義につき 300円

(3) 参加者数 ※ [昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 36名 [32名]
- ◇ 佐賀大学生 : 51名 [75名]
- ◇ 法人 : 4社 [9社]
- ◇ スポット (学生) : 3名 [0名]
- ◇ スポット : 26名 [27名]
- ◇ 大学コンソシアーム : 2名 [2名]
- ◇ 学生 : 2名 [1名]
- ◇ その他 (大学職員) : 0名 [1名]

3 事業概要

(1) 講義

- ◇ 平成22年5月12日 (木) から平成22年7月7日 (木) まで
- ◇ 午後7時から午後8時30分まで (※質疑応答：午後9時まで)
- ◇ 佐賀大学教養教育運営機構2号館 211番教室 (本庄キャンパス内)
- ◇ 全12回

※学生は、佐賀大学生、学生受講生、大学コンソシアーム受講生のこと。

回	日程	講義内容	所属等	講師名	受講者数		
					市民	学生	計
1	5月11日(火)	環境問題総論・佐賀環境フォーラムについて	佐賀大学 理工学部 教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事務局長	宮島 徹	42	45	87
2	5月13日(木)	バイオマス資源の有効活用と地域循環型社会づくりに向けて	(有)鳥栖環境開発総合センター	伊地知 武郎	31	45	76
3	5月18日(火)	地球と自分をつなぐ、生ごみリサイクル元気野菜作り	NPO法人大地といのちの会	吉田 俊道	38	36	74
4	5月20日(木)	「環境経営と省エネについて」 ～省エネ事例を紹介しながら～	㈱シグマ 省エネESCO推進営業開発 リーダー	池上 敏昭	29	40	69
5	5月25日(火)	「土の話」「環境の話」 土壌汚染問題を中心に環境への取り組みについて	環境省 水・大気環境局 土壌環境課	足立 晃一	36	44	80
6	5月27日(木)	農山漁村の生活空間と環境利用	佐賀大学 文化教育学部 准教授	藤永 豪	28	42	70
7	6月3日(木)	炭酸ガス削減に寄与する電池	佐賀大学 理工学部 教授	野口 英行	29	42	71
8	6月10日(木)	癒しの里山づくり～ 何度でも訪れたい緑と清流の森づくり	特定非営利活動法人「かいろう基山」	松原 幸孝	26	36	62
9	6月17日(木)	遺伝物質DNAの損傷から見る環境因子の生体障害機構	総合分析実験センター機器部門 准教授	寺東 宏明	27	39	66
10	6月24日(木)	バイオエタノールの基本と仕組み	佐賀大学 農学部 准教授	北垣 浩志	28	38	66
11	7月1日(木)	環境ラベル「エコマーク」～商品購入から地球環境 を考える～	財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局 企画部長	宮川 昌治	26	40	66
12	7月8日(木)	佐賀大学有明海総合研究プロジェクトの成果 ～コア研究1 水圏環境科学を中心として～	佐賀大学 理工学部 准教授	大串 浩一郎	30	41	71
合計					370	488	858

(2) 体験講座

1) 自然体験会（植生調査） 平成22年5月29日（土）

【目的】 植物は、その土地の気象・地質・地形、さらには人間を含む他の生き物などとの関係により適応した結果、現在の形をなしている。

自然に人の影響がどの程度あったのか、自然性がどの程度残されているかを示す一つの指標として調査し、自然環境を守り、育む意識の再確認を促すことを目的としている。

【内容】 脊振山頂、神崎市脊振町の2箇所の植生を見学し、佐賀市久保泉町で植生調査を実施した。

2) ごみ探検隊 平成22年6月19日（土）

【目的】 佐賀大学構内のごみ分別について調査することで、大学構内でのごみ分別方法やごみの減量化に努めることを目的としている。

【内容】 佐賀大学構内で出たごみを7班で再分別し、その調査結果からどうしたら分別が徹底できるかを考察し発表。

佐賀大学から排出されるごみの収集業者である(有)佐賀資源開発の方から、ごみの分別について説明をいただいた。

内 容	一般	学生	その他	スタッフ	計
植生調査	4	7	1	3	15
ごみ探検隊	4	40	0	3	47
計	8	47	1	6	62

(3) 現地見学会

【日時】 平成22年7月3日（土）

【内容】 県内にある施設等の現地見学。以下の3コースのうち1つを選択。

全3コース / 各コース2ヶ所見学

1コース ①クリーンパークさが ②玄海原子力発電所

2コース ①佐賀西部広域水道企業団 ②味の素(株)九州事業所

3コース ①佐賀市清掃工場 ②(株)ヤクルト本社佐賀工場

コース	一般	学生	スタッフ	計
1コース	11	19	2	32
2コース	8	6	1	15
3コース	3	18	2	23
計	22	43	5	70

(4) グループ・ワークショップ

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、各グループが研究テーマを決めて研究活動を行った。

	一般	学生	計
平成21年度	12	46	58
平成22年度	8	21	29

1) 主な研究活動

① EMS研究【継続：7年目（H16～）】

佐賀大学の環境報告書により佐賀大学のEA21の取組を研究し、またEA21を取得した会社の見学等を通じて、EA21について学んだ。

② シックスクール【継続：8年目（H15～）】

室内環境の健康影響を考える事例として、シックスクール問題を取り上げ、シックハウス症候群の現状を理解するとともに、実際に佐賀市内及び長崎県大村市の小中学校室内空気を測定し、シックスクールの発生原因やその対策について検討した。

③環境教育【継続：3年目（H20～）】

幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、ホテルの一生を表現した紙芝居を作成し、幼稚園保育園で紙芝居やごみ分別ゲームなどを行うことで、こどもたちに自然に親しみをもってもらい環境問題を伝えることができた。

④水環境【継続：6年目（H17～）】

佐賀市の水環境を改善することを目的として、蓮池公園内にある池を対象として池の水質汚濁の原因について研究した。主に、アオコの発生とリン濃度の関連について詳しく研究した。

⑤チャリツーリズム（旧エコツーリズム）【継続：8年目（H15～）】

佐賀地域における地域振興の形としてのエコツーリズムを確立するために、佐賀地域が有する観光資源を調査・検討し、学内の放置自転車再生によるツーリズムについて考察し、佐賀城下ひなまつりやバルーン大会などでレンタサイクル事業を実施した。

2) 各種会議

① 第1回全体会 平成22年 7月15日（木）

② 第2回全体会 平成22年10月21日（木）

③ 中間報告会 平成22年12月 4日（土）

3) 研究成果発表会

日時：平成23年1月29日（土）

出席者：計61名（学生26名、一般27名、その他8名）

※ワークショップ研究成果発表会のDVDを作製し、市内各所へ頒布。

(5) インターンシップ型ワークショップ

今年度より、新たに始まった取り組みで、学生が環境系NPO法人の活動を実際に体験することで、より身近に環境問題について学んだ。

参加者：計7名（すべて佐賀大学生）

1) 派遣先NPO法人

①さが環境推進センター

佐賀市エコプラザにて市民により持ち込まれた不用品の整理、整備、清掃などの運営に関する作業や公民館でのイベントの補助を体験し、「ていねいに暮らす」ということや「ものを大切にする」といったことを学んだ。

②三気の会

無農薬、無化学肥料で作る人と環境にやさしい農作物栽培や、ごみくい体験を通じて、循環型社会とはなにかということや、作業をする下積み・裏方の大変さ、ものづくりに取り組む姿勢などを学んだ。

③ビッグリーフ

森林整備(間伐)の体験や、作りすぎた人工林の間伐材を使った積み木あそびを通じて、森林保全について学んだ。

2) 各種会議

第1回全体会 平成22年10月7日(木)

3) 活動成果発表会

グループ・ワークショップの研究成果発表会と同じ日程で行った。

(6) 終講式

日 時：平成23年1月29日(土)

修了者数：【一般】28名(36名中)、【法人】1社(3社中)、【学生】1名(2名中)

4 その他

(1) 河川清掃

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春に1回、地元自治会(佐大前自治会)と佐賀大学教職員、学生が参加し、佐賀環境フォーラムの事業として実施した。

①春の河川清掃 平成22年 4月25日(日)・・・65名参加

※清掃終了後に、佐賀大学生協にて懇親会を開催

※秋の河川清掃は、佐賀大学と地元自治会が連携し実施した。

(2) 平成「打ち水」夏の陣2010

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらおうきっかけとした。

【呼びかけ期間】平成22年7月23日(金)～平成22年8月23日(月)

① 佐賀城本丸歴史館 平成22年8月7日(土)・・・約60名参加

※例年、栄の国まつりのパレードでも打ち水を行うが今年度は学生のテスト期間と重なったためパレードに参加することができなかった。

(3) ごみくい

主催：三気の会(元気・勇気・活気の会)

日時：平成22年12月23日(木) 午前9時30分から

場所：兵庫町

(4) 「チャリさがさいせい」が準グランプリを受賞

第8回全国大学生環境活動コンテスト（ecocon2010）で、ワークショップから派生した学生グループ「チャリさがさいせい」が準グランプリを受賞した。放置自転車の再生活動の取り組みが循環型社会の実現に向けた具体的な仕組みづくりとして評価された。また地域イベントでの貢献なども評価された。

(5) ストップ温暖化大賞「低炭素杯2011」～低炭素地域づくり全国フォーラム～に出場

地球温暖化防止に関する地域活動を全国各地で実践している、学校、NPO、企業、自治体などが東京大学・安田講堂にてプレゼンテーションし、グランプリ等を決定する「低炭素杯2011」に佐賀県を代表して出場した。佐賀大学大学院秋山翔太郎氏が代表してプレゼンテーションを行い、入賞はしなかったが対外的に広くPRすることができた。